

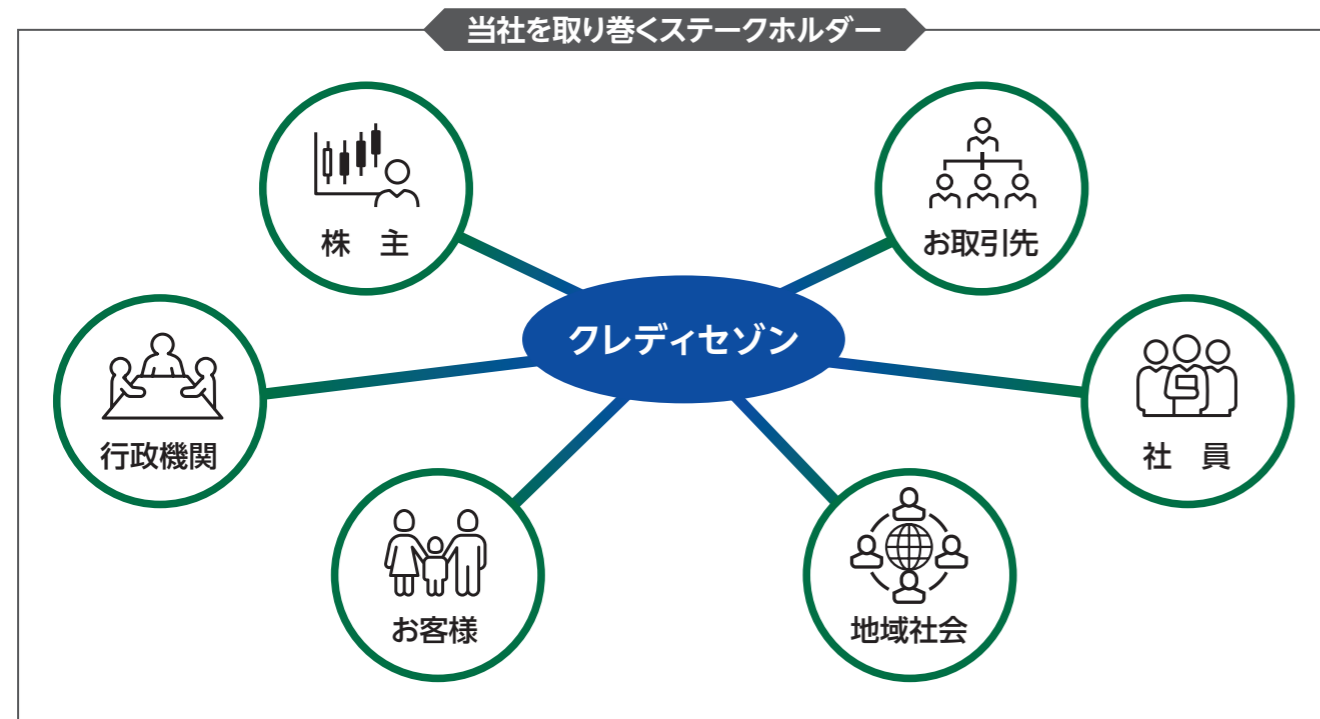
ステークホルダーとの価値共創

お客様と50年間を共に歩むファイナンスカンパニーを目指して —ステークホルダーから見たクレディセゾン—

社会から必要とされる企業であり続けるためには、ステークホルダーから「何を求められているか」を理解し、サービスや企業活動に反映させていくことが重要だと考えます。

また当社にとってステークホルダーの皆様は、企業価値向上の重要なファクターであり、ご期待や厳しいご意見を常に真摯に受け止めることが当社の持続的成長に欠かせないものと考えます。

そうしたお声の一つとして、今回は、ステークホルダーであるお取引先からのメッセージをご紹介します。



お取引先からのメッセージ

ペイメントビジネス Payment Business



三井不動産商業マネジメント株式会社
代表取締役社長
青柳 雄久様
(2020年4月より取締役会長)

私ども三井不動産グループとは、2000年の提携カード発行から20年にわたりお付き合いをいただいています。提携カードの会員数も350万人を超え、ららぽーとや三井アウトレットパークをはじめとした私どもの商業施設とお客様とを繋ぐ、大変重要な接点として欠かせないものになっています。これまで大変多くのクレディセゾンの皆様に携わっていただき、苦しい局面、困難な状況も多々あり

ましたが、常に社員の皆様が親身になって取り組んでいただき、まさに「パートナー」としてこの20年を一緒に築いていただきました。時代変化への対応も早く、弊社アプリでの提携カード決済にもいち早く取り組んでいただきました。商業施設も大きな環境変化の真っ只中にありますが、互いのチャレンジ精神を発揮し合いながら、これからの10年、20年を一緒に作りあげていければと思います。

ペイメントビジネス Payment Business



エイ株式会社 代表取締役副社長
コイニー株式会社 代表取締役
佐俣 奈緒子様

弊社はまだマンションの一室に会社を構えて数名で事業を行っていた創業1年目から、クレディセゾンの皆様と協業させていただいております。いまでこそオープンイノベーションという言葉が一般的になりましたが、当時は先駆けて取り組んでいただき、以来7年間、一貫して厚いご支援いただいていること御礼申し上げます。クレディセゾンの皆様は、経営陣と社員の方々の距離がとても近

く、オープンでフラットであり、それは我々社外に対しても同様ゆえ、数々の意思決定を迅速に進めていただける最高のパートナーです。引き続き、深い協業の中で、日本のキャッシュレスを促進するような大きな成果を築いてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

ファイナンスビジネス Finance Business

「セゾンの資産形成ローン」の商品化にあたり、先駆けてお声掛けいただいたご縁がきっかけでしたが、今では家賃保証業務や赤城自然園でのイベント共催など、そのお付き合いも年々広がりを増してまいりました。当社の従業員からは、「クレディセゾンの皆様の状況に応じた対応やネットワークの良さには助けられている」という声をよく聞きます。これもひとえに、いち早くクレジットカード会

社の枠を超え、デジタルを活用した事業やESG経営を推進するなど、当社も事業を推進していくうえで重要であると考えて、高い機動力と柔軟かつガバナンスの効いた経営方針が、企業文化として従業員にまで深く根付いているのだと実感しております。これからも末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。



株式会社エフ・ジー・ネクスト
代表取締役会長兼社長
肥田 幸春様

グローバルビジネス Global Business



五常・アンド・カンパニー株式会社
代表取締役
伊藤 泰俊様

クレディセゾンの皆様とお仕事で一緒するにあたり、その歴史について調べたことがあります。緑屋の再建から始まった御社が、知恵と機転をきかせながら事業を拡大させていった歩みの中に、確かな起業家精神を感じました。ご一緒するクレディセゾンの皆様の一人ひとりがみな大変魅力的で、義理堅く、教養深いと同時に、遊び心を忘れないのが印象的です。その社風には堤清二様の

DNAと中興の祖である林野会長の精神を強く感じます。民間セクターの世界銀行を作ることを目指して創業した弊社の心意気を買ってください、日本で初となる大規模な融資をくださったことに深く感謝しています。これからも変わらずお付き合いください。